

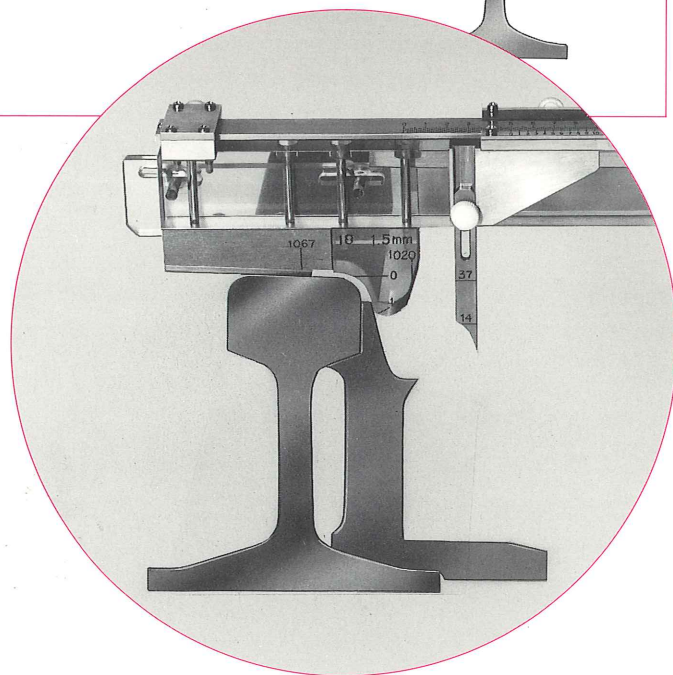
車輪の走行と同じ状態で測定出来る最新鋭機

ポイント先端部安全度判定定規

HLG-1

7種の機能を装備したポイント先端部の安全度判定器

長さ1234mm 重量2kg



■概要 軌道分岐器のポイント先端部の基本レールとトングレールの噛み合わせ形状や、その部分における限度を越えた摩耗やトングレールの損傷、欠落が生じたときに、車輪が乗り上がり、割り込みなどによる脱線を引き起こす危険が高くなります。

これらの要因を早期にみつけ適切な対応をしなければなりません。

本器機はポイント先端部で脱線の起きる危険を判定する機能、下部建築限界を測定できるなど、1台で7種の機能を装備したポイント先端部安全度判定定規（略称、ポイント先端定規）で取扱簡便、低価格です。

- 性能
- (1) 摩耗車輪ゲージ 「角度定規」 $17^{\circ}-3\text{mm}$ $18^{\circ}-1.5\text{mm}$
 - (2) ポイント先端部 「a. b 判定定規」
 - (3) フランジウェー幅 & 下部限界測定装置
 - (4) 軌間測定
 - (5) バックゲージ
 - (6) 車輪内面距離 最大994mm 最小988mm

■重量 2kg

■概観寸法 長さ=1234mm 高さ=117mm 幅=50mm



株式会社 原田製作所

本社 〒132 東京都江戸川区松島1-36-2
N T T TEL.03(3655)6165(代) FAX.03(3655)6766
J R TEL・FAX.(057)2229
代理店 旭川・札幌・秋田・仙台・新潟・水戸
長野・名古屋・大阪・四国・門司・熊本
大分・鹿児島

地区代理店